

事業計画書（実績書）

令和6年1月16日

団体名：素敵なバリアフリーコミュニケーションズ

<p>事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）</p>	<p>私たち、「素敵なバリアフリーコミュニケーションズ」は魅力あるエンターテインメント（映画上映、ワークショップ、交流イベントetc…）を通じて、“バリアフリーコミュニケーション”が、この綾部で、もっと身近で、もっと広く、もっと賑わうことを目的として活動する団体です。</p> <p>ともに、「楽しむこと」「感じること」を大切にしながら、差別や偏見のない、みんなが生きやすい、生きることを楽しめる社会、バリアを越えての交流が広がるための活動を展開します。</p> <p>本事業では、「聴覚障害」というバリアにスポットした、映画鑑賞とダンスワークショップを行います。</p> <p>これまで関わることの少なかった“聴こえる人”“聴こえない人”が、「58分間の音のないダンス映画」をともに楽しみ、さらに、ともに触れ合いながら踊ることで、「聴こえない世界」を、『障害』という言葉のイメージから解放し、「少し体験したことのある世界」「少し知っている感覚」として、そのままに理解していただきます。</p> <p>本事業を実施することで、“聴こえる/聴こえない”の関係性を超えた市民同士の交流が生まれ、地域の賑わいを創出します。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>映画『Listen』上映会&ダンスワークショップ</p>
<p>事業費 （市補助金）</p>	<p>317,922円 (119,000円)</p>
<p>補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●映画上映権料 ●ダンスワークショップ講師謝礼、旅費交通費 ●会場使用料 ●チラシ等印刷料 ●保険料等
<p>事業実施期日</p>	<p>2023年11月18日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>里山ねっとあやべ</p>

<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)</p>	<p>映画『Listen』上映会と、ダンスワークショップ（講師：伊藤千枝子氏）をそれぞれ1回ずつ開催しました。</p> <p>映画『Listen』は、2人のろう者の監督がつくった、15人のろう者が出演する58分間の“音の無い”のダンス映画です。ろう者のためだけに作られた映画ではなく、誰もが視覚的に音楽を感じとれる映画です。</p> <p>ダンスワークショップでは、映画『Listen』で触れた「音楽が視える世界」の感覚が鮮やかなうちに、参加者のみなさんが、踊ってみるにより「音楽が視える世界」を身をもって体験していただきました。</p> <p>「聴こえる／聴こえない」バリアを越えて、「音のない世界」「音楽がみえる世界」の共感と共同体験を生み出すワークショップを実施しました。</p> <p>参加者；48人</p>
<p>補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)</p>	<p>無音のダンス映画『Listen』の上映では、しんと静まり返った会場で、登場するろう者の動きひとつひとつに、参加者が引き込まれるように集中していました。一人一人が、聴者は「音のない世界」について考え、想像をめぐらし、また、ろう者は自らの中にある「視える音楽」に耳をすましながら、想いを巡らせていました。</p> <p>一転、ダンスワークショップでは、参加者がまさしく身体をふれあいながら、満面の笑顔で踊る様子に、そこには聴者、ろう者、難聴者が、その一切の区別なく、同じ空間を、同じ楽しみを共有する、“新しいバリアフリーのにぎわい”の光景をみることができました。</p> <p>そして、それぞれが、次のにぎわいへ繋がる感覚を持ち帰られたことと思います。</p> <p>11月の開催となり、他の多くのイベントと日程が重なりながらも、多くの人に参加いただき、また、予定があって、参加できなかった方々からも「次回はぜひ参加したい」との声もいただき、市民同士の交流が生まれ地域のにぎわいづくりとなった他、バリアフリーへの意識の醸成とともに、次の新しいにぎわいへ繋がる一歩とすることができました。</p>

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（~~計算書~~）

令和6年1月16日

団体名 素敵なバリアフリーコミュニケーションズ

(単位：円)

収入の部	区分	予算額	収入済額	明細
	市補助金	119,000	119,000	
その他の資金				
・映画チケット収入	65,000	36,400	@1,300×28人	
・ワークショップ参加費	46,000	34,400	大人：@2,000×13人 高校生以下：@1,200×7人	
・住友理工補助金	50,000	50,000		
・自己資金	37,922	78,122		
合計	317,922	317,922		
支出の部	区分	予算額	支出済額	明細
	講師交通費	33,190	33,190	
講師宿泊費	15,850	15,850	・17日ぼっかって 12,000円 (内宿泊費 8,000円) ・18日里山ネットあやべ 3,850円 ※うち、対象17日 8,000円	
講師謝礼	100,000	100,000	※うち、対象30,000円	
手話通訳者謝礼	0	0		
手話通訳委託	37,489	37,489	・京都市聴覚言語障害センター	
会場使用料	7,875	7,875	里山ねっとあやべ ・9月14日会議室利用料 500円 ・11月18日貸館料 7,375円 ※うち、対象7,375円	
印刷製本費	8,810	8,810	・コピー代金 e-PLUM 660円 ・印刷代 ボランティアセンター 330円 ・コピー代 里山ねっとあやべ 560円 ・チラシ印刷代 プリントパック 4,410円 ・チラシ代金 聾の鳥プロダクション 2,850円	

通信運搬費	180	180	日本郵便 スマートレター代金
映画上映権	30,432	30,432	聾の鳥プロダクション上映料
デザイン委託費	20,000	20,000	(株) タクラボ
記録写真撮影費	20,000	20,000	
記録動画撮影編集費	40,000	40,000	
保険料	1,610	1,610	保険料@30×50名、振込手数料
消耗品費	2,486	2,486	・耳栓+養生テープ 1,283円 ・ポストイット 1,203円
合 計	317,922	317,922	(対象 239,572)
差 引	0	0	